

部局名	都市整備部	所属名	土木管理課	所属長名	御園生 悟	電話	483-1151 内線3610
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3288	事務事業名称	道路境界事業				短縮コード	経常	3288	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	・道路法 ・八千代市土地境界査定取扱規則								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
八千代市土地境界査定規則 (昭和38年6月15日) 市の管理する道路・水路・その他市有地との境界査定及び確認業務。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	05	第5章快適生活都市をめざして					
土地に対する意識が高まってきたために、境界立会いが困難になってきている。立会いが不調に終わるケースもある。					大項目(節)	01	第1節総合交通					
					中項目	02	2. 道路					
					小項目	03	(3)一般市道の整備					
					細項目	01	①市道の管理					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	境界査定を求められた道路, 水路。						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: ・査定申請を受ける。 ・八千代市土地境界査定取扱規則により市の管理する道路、水路、その他市有地との境界査定及び確認を行う。 ・境界標の設置を行う。 ・境界確定図の交付申請を受け、確定図の交付をする。 ・道路台帳の整備を行う。 ※平成24年度に計画していること: 平成23年度と同じ。						
意図 (何を狙っているのか)	市に移管する道路、水路の境界を確定する。						
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外						
区分		単位	22年度		23年度		24年度
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	道路, 水路境界査定申請件数	件数	66	70	75	70
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	立会い査定日数	日	66	70	75	70
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	査定立会い	%	100	100	100	100
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3288	事務事業名称	道路境界事業			所属名	土木管理課
	単位	22年度		23年度		24年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	295	421	375	319
		その他	千円				
主な事業費の内訳		消耗品費		消耗品費		消耗品費	
人件費(B)		千円	22,622.5	24,774.7	24,764.9	24,764.9	
トータルコスト(A)+(B)		千円	22,917.5	25,195.7	25,139.9	25,083.9	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価 類型	評価事項	評価区分	理由			
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	第4次総合計画の体系「一般市道の整備」の市道の管理に結び付いている。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的 妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	今後も市道の管理業務を続けていく必要があるため。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的 妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	道路法などに基づいた事業であるため、民営化に元々なじまない。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的 妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で成果に結びつくことができる。			
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	境界確認関係の資料をデータ化し、管理をパソコンにより行うことで、事務処理の改善を図る。			
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
	<input type="checkbox"/> ない		2		実施主体 (所管部署)	
				データ処理システム導入による一時的な経費増と、データ入力の手間が必要になる。国の政策である、地籍調査事業との関連性。		

コード	3288	事務事業名称	道路境界事業			所属名	土木管理課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			境界画定関係の資料をデータ化することで、事務処理の改善を図る。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	データ化によるコストの増加と、資料処理の成果向上が考えられる。	
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
市道と市民の土地との境界についての事業であるために、市民の意識は高い。	

所属長コメント	官民の境界確定については、市民の財産に影響するため市民の意識は高く、慎重かつ迅速な対応が求められる。したがって、電子データ処理システム導入による事務処理能力向上を推進する。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	現状のまま継続とするが、境界確認関係の資料管理については、事務処理の効率化に向け、今後も検討を行っていくこと。